

日 時： 令和 7 年 7 月 25 日（金） 14:00～14:30

場 所： オンライン開催

出席者： 熊谷朝臣、平野高司、伊勢武史、市井和仁、植山雅仁、片柳薰子、小谷亜由美、
佐藤永、須藤健悟、高梨聰、仁科一哉、野田響、村岡裕由

欠席者： 近藤雅征、檜山哲哉、持田陸宏、加藤知道

配付資料：議事次第に事前配付資料 1～3。当日の追加資料として「追加資料_今年度の研究集会
(案). docx」を配布。

議事進行

(1) 報告事項：国際科学委員会における最近の議論内容

佐藤より資料 3 を元に以下の通り報告：

2025 年 6 月の iLEAPS SSC 会合では、地球環境変動に関する多岐にわたるテーマが議論された。注目されたのは、広がるマイクロプラスチック汚染への対応で、iLEAPS が主導する新たなワーキンググループの設立が決定された。また、2027 年に広島で開催される次回オープンサイエンス会議に向け、トランスディシプリナリー（学際）アプローチやエネルギー・健康・市民科学を取り入れたセッションの検討が進められている。さらに、南アジアやラテンアメリカにおける若手研究者ネットワークの強化や、地球観測データの活用に関する国際共同研究も進展。インドでは大学との連携による教育プログラムの展開も報告された。iLEAPS は、他のグローバルネットワーク（IGAC、SOLAS、ESA 等）との連携を深め、気候変動・大気汚染・持続可能な土地利用といった課題への国際的対応を推進している。

(2) 協議事項 1：今年度開催の国内研究集会について。

追加資料に基づき議論を実施。以下の開催要領が議長より提案され、承認された。

日程：2025 年 11 月 25 日（火）午後～27 日（木）午前

会場：広島大学 東広島キャンパス

主催：iLEAPS 日本小委員会、広島大学 濑戸内カーボンニュートラル国際共同センター、Global Carbon Project つくば国際オフィス

実行委員：佐藤永（JAMSTEC）、近藤雅征（広島大学 S-CNC）、町田敏暢（国立環境研究所・広島大学）、白井知子（国立環境研究所）

(3) 協議事項 2：2027 年春開催予定の iLEAPS 国際科学集会（iLEAPS7）について

資料 2 に記載した現時点での案に基づき議論を行った。基本方針については合意が得られたが、国際 SSC からの要望にかんしては、会場キャパシティや国内研究者の研究分野分布などを踏まえ、オンラインベースで調整を進めることで合意した。基調講演者の候補についても、

各委員から案を募ることとなった。

持田委員（事前にメールにて頂いた情報）：先日の IAMAS 傘下の iCACGP (Future Earth の IGAC に相当) SSC 会議で iLEAPS7 の紹介があり、ジョイントセッションの話題も出た。関連国際委員会との連携の可能性に注目している。

佐藤委員長：IGAC との連携により、扱えるテーマの幅が広がると考えられる。IGAC Japan との連携については、IGAC Japan 日本小委員会委員長の金谷氏によると、独自の事務組織がないため、セッションの企画といった限定的な協力に留まる見込み。

仁科委員：国際 SSC からの追加要望は、セッション新設ではなく、既存セッションの説明に項目追加することで対応可能と考える。ただし、プラスチック関連は調整が難しい可能性あり。

佐藤委員長：現行のセッション案で関連研究分野を網羅していると認識しており、仁科委員の提案に賛成する。

(4) 協議事項 3 : iLEAPS-Japan の今後の活動について

今後の活動方針（国内研究集会、事務体制、Web 管理など）について協議。Future Earth 傘下の日本国内 GRPs として、比較的活発な組織であるとの認識を共有。まずは iLEAPS7 の成功に向けた活動に注力する方針で一致した。

(5) その他

仁科委員：iLEAPS とも多少関係するが、2026 年 11 月 2~6 日に第 10 回国際窒素会議が京都で開催される。先日公式ウェブサイトが開設されたので紹介する (<https://n2026.org/>)。

佐藤委員長：iLEAPS7 の 4 ヶ月ほど前に開催される国際会議であり、スケジュール感の参考になる。iLEAPS7 のウェブサイトについても、今から 4 ヶ月後くらいには開設できると良いと考えている。

以 上